

1. 診療所の所在地は？

都・道
府・県

【算定に関して】

2. 「歯科疾患管理料 小児口腔機能加算（100点）」について算定されたことはありますか？

A.あり B.なし

「B.なし」と回答された方

「A.あり」と回答された方

4. 算定の頻度を教えてください

1ヶ月あたり平均 名程度、15歳未満小児患者の %

5. 今までに返戻はありましたか？

A.あり(返戻理由:) B.なし

3. 算定していない理由を教えてください（最も大きな理由を一つ）。

- A. 対象患者がいない
- B. 診断基準、指導内容などがわからない
- C. 自費でやっている
- D. 衛生士などマンパワーの不足など自院の都合
- E. 情報収集中または準備中
- F. その他()

【対象患者・管理の内容について】

6. 今まで算定されたことのある対象患者の年齢層をすべて選んで下さい。

- A. 乳児(0～2歳)
- B. 幼児(3～5歳)
- C. 学童前期(6～9歳)
- D. 学童後期(10～12歳)
- E. 思春期(13～14歳)

7. 算定基準に「表にある評価項目のうち、咀嚼機能を含む3項目以上に該当するもの」とありますが、これまで算定した対象患者について評価したことのある該当項目を各ステージごとに判る範囲で選んで下さい（表中に○を記入して下さい）。

			乳児 (0-2歳)	幼児 (3-5歳)	学童前期 (6-9歳)	学童後期 (10-12歳)	思春期 (13-14歳)
食べる	咀嚼機能	歯の萌出に遅れがある					
		咀嚼に影響するう蝕がある					
		強く咬みしめられない					
		咀嚼時間が長すぎる、短すぎる					
		偏咀嚼がある					
	嚥下機能	舌の突出（乳児嚥下の残存）がみられる					
		哺乳量・食べる量、回数が多すぎたり少なすぎたりムラがある等					
話す	構音機能	構音に障害がある					
		口唇の閉鎖不全がある					
		口腔習癖がある					
		舌小帯に異常がある					
その他	その他	栄養(体格) カウプ指数・ローレル指数評価で痩せ、肥満である					
		口呼吸がある					
		口蓋扁桃等に肥大がある					
		睡眠時のいびきがある					
		その他					

8. 指導・管理の方法は？（複数回答可）

- A. 口頭での説明、指導のみ
- B. 自作の資料、リーフレットを利用
- C. 保護者・本人への実技指導(MFTやその他訓練)
- D. 装置の利用(パタカラ®口りっぷるとれーなー®など)
- E. その他()

9. 1回あたりの指導・管理の平均時間は？

- A. 10分未満
- B. 10～20分
- C. 20～30分
- D. 30分以上

10. 患者、保護者からの評価は？

- A. 良い
- B. 概ね良い
- C. わからない
- D. 概ね悪い
- E. 悪い

11. 先生自身、算定してみたの評価＝手応えは？

- A. 手応えあり(理由:)
- B. 手応えなし(理由:)
- C. わからない・なんともいえない

12. 保険点数100点について

- A. 高すぎる
- B. 高い
- C. 妥当
- D. 低い
- E. 低すぎる

13. 「D.低い」「E.低すぎる」と回答された方、その理由と適正と思われる点数は？

低いと評価した理由() 適正と思う点数()点

14. その他ご意見があればご自由に記載して下さい。

14へお進み下さい